

# セラピスト活動報告

# Therapist

## サウンドヒーリングセラピスト 16期生 杉山 洋一さん



私は現在、東京の田園調布 長田整形外科にて、リハビリテーションスタッフ／サウンドヒーリングセラピストとして従事しています。

当院では、長田夏哉院長のもと、body-mind-spirit の全人的視点を大切にし、心身の不具合を「とりのそく」ではなく「ひきうける」という新たな視点を提案し、すべての人に備わっている自発的治癒システムを発動させ「眞の健康 well-being」をサポートすることを治療理念に掲げています。

私は小さい頃からスポーツが好きで、サッカーやスノーボードを長年やっていました。10代の頃からスノーボードを競技として始め、22歳の時にメーカーとアマチュア契約をし、雪を求め、1年の半分近い期間を雪山で過ごす生活をしていました。危険が伴うスポーツ故に怪我が絶えず、半月板損傷、靭帯損傷、肩鎖関節脱臼、腰椎胸椎圧迫骨折など…様々な怪我を経験してきました。最終的には怪我が長引き、新たな怪我が増え、心身共に負担に耐えられなくなった27歳の時、競技人生を終えました。

今考えると当時は身体の怪我と同時に、心の落ち込みと激しい葛藤を抱えていたことを思い出します。そして今までの人生をリセットし、自然な流れで出会ったのがサウンドヒーリング、そして田園調布 長田整形外科でした。

私は初めてサウンドヒーリングの施術を受けた時、私のガチガチに固まった体が驚くほど緩み、今までに味わったことのない癒しと感動に包まれたことを覚えていました。その後の自分自身への実験的な施術では、肩や膝の古傷の痛みが消えていくのがわかりました。「音は大きな可能性を秘めている」まさにそう確信しました。

現在、当院では様々な疾患の患者様にサウンドヒーリングをおこなっています。例えば、別々の整形外科疾患を持つ数名の方を対象とした施術前後のVAS評価による痛みの変化の臨床実験では、平均で約1/3の痛みの軽減がみられ、個人においても、毎回の施術ごとに痛みが全く消えるという方も見受けられました。また、骨粗鬆症の方の骨密度が上昇していくというようなデータもあります。

上記についてはまだ臨床実験中ですが、その他定期的な施術を受けられている患者様の声からは、「便秘が改善された」「夜トイレに起きなくなった」「イライラしなくなった」「自律神経の薬を飲まなくなった」等の声をいただいています。整形外科領域という枠内だけではなく、患者様のホリスティックな変化が日々見て取れる感じています。

「音は体と心と魂に調和をもたらしてくれるちからがある」私はこの音のちからと共に、日本の、そして地球の素晴らしい未来を創造していきたいと思います。そして少しでも、人々のために貢献できることを望んでいます。

今後は更に様々な視点での評価も取り入れながら、皆様の眞の健康のサポートに努力していきます。



## セラピスト第18期生 加藤 孝子さん



わたしは30年以上、予防医学として琵琶温灸と操体法を基本に、いくつかの方法を用いてお客様の体調にあわせた施術を行ってきました。これまで一切、宣伝などしたことはありませんが、クチコミで多くのお客様が訪ねています。今では、早朝6時過ぎからお越しになる方にはじまり、予約がつづき、午後3時頃終了するという時間帯が営業時間となりました。毎日ほとんどお休みをいただくことなく営業しています。

そんな中、長年通っているお客様や、年齢や性別を問わずお越しになるお客様の身体を施術すればするほどむずかしさを感じながら、更なる学びを深めつづける日々です。

様々な講義や研修会へ参加する中、熱海にある保養所でサウンドヒーリングと出会いトリーントメントを受けました。その体験はとても衝撃的で「細胞が話しをしている感じ」と直感し、「是非お勉強したい!」と言う気持ちで、すぐにサウンドヒーリング協会へ問い合わせました。

実にベストなタイミングで、開催日が近日に迫る資格認定ファシリテーター研修会を受講する事ができ、サウンドヒーリングとの深いご縁を感じずにはいられませんでした。さらにサウンドヒーリングの理論と実技を深め、これまでの施術に具体的に合わせていくことを考えて、その後セラピストの認定資格を取得いたしました。

わたしはこれまで、お客様の身体に備わる力が十分に発動することを目的に、わたしが治していると言う意識ではなく、身体からの声を自分の感性で感じていくことに集中し、施術を行ってきました。施術を行うと同時に自立を促し、日常生活の中で取り組んでいただく食事療法などもお伝えしてきました。サウンドヒーリングの研修会では「わたしたちが治すのではなく、その方の中にある自分を癒す力・治す力を、音を効果的に用いて援助する」という学びに深く共感し、より細胞の活性化をばかり毎日サウンドヒーリングトリーントメントを行っています。日頃より、年齢は外見だけではなく、体内も同時に重ねていることや、心と体は密接につながり、自分の体に感謝して大切にしていく事で、心も同時に癒されることなど、心身のバランスの重要性をお伝えしています。今では、心と体に同時に働きかけるサウンドヒーリングトリーントメントを、ご自身の感性で希望される方が多くなりました。中には施術の総仕上げとして必ず受けずにはいられないと言う方までおられる程です。

このような毎日の内でたくさんの奇蹟を見て、体験を重ねてきました。気づきや喜び、感動や感謝をいただきながら、年齢に関係なく「生きていることは学びつづけること」と、これからもさらに学び成長して行きたいと思っています。

日頃より自分の体をしっかりと自己管理しながら、月に1度、喜田先生のトリーントメントを受けに目黒サロンへ行っています。実際に体で体感していくことは深い気づきにつながりますし、先生との会話もとても楽しく、毎回貴重な学びとなっています。

生命の輝きは本当に素晴らしいです。生命がそのままに生きていけるように、これからも尽力していこうと思います。